

平成10年3月期 決算短信

上場会社名 日野自動車工業株式会社
 コード番号 7205
 本社所在地 東京都日野市日野台3丁目1番地1
 問合せ先 責任者役職名 広報部長
 氏名 高田 晃弘
 決算取締役会開催日 平成10年5月26日
 連結決算の有無 有

上場取引所(所属部) 東京・大阪・名古屋・(各市場第一部)
 広島・福岡・新潟・札幌
 TEL (03)3272-1891
 定時株主総会開催日 平成10年6月26日
 中間配当制度の有無 有

1. 10年3月期の業績(平成9年4月1日~平成10年3月31日)

(1) 経営成績

(注) 百万円未満は切捨てて表示している。

| | 売上高(対前期増減率) | | 営業利益(対前期増減率) | | 経常利益(対前期増減率) | |
|--------|-------------|--------|--------------|---------|--------------|---------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 10年3月期 | 575,205 | (7.5) | 1,012 | (88.3) | 4,589 | (51.9) |
| 9年3月期 | 622,102 | (+6.0) | 8,676 | (+30.7) | 9,539 | (+20.9) |

| | 当期利益(対前期増減率) | 1株当たり当期利益 | 潜在株式調整後1株当たり当期利益 | 株主資本当期利益率 | 総資本経常利益率 | 売上高経常利益率 |
|--------|---------------|-----------|------------------|-----------|----------|----------|
| | 百万円 % | 円 銭 | 円 銭 | % | % | % |
| 10年3月期 | 3,644 (32.4) | 10 06 | — | 2.7 | 1.2 | 0.8 |
| 9年3月期 | 5,390 (+27.8) | 14 88 | — | 4.1 | 2.6 | 1.5 |

(注) 1. 期中平均株式数 10年3月期 362,392 千株
 9年3月期 362,392 千株
 2. 会計処理方法の変更 なし

(2) 配当状況

| | 1株当たり年間配当金 | | | 配当金総額(年間) | 配当性向 | 株主資本配当率 |
|--------|------------|------|------|-----------|------|---------|
| | 円 銭 | 中間 | 期末 | | | |
| 10年3月期 | 6 00 | 3 00 | 3 00 | 2,174 | 59.7 | 1.6 |
| 9年3月期 | 6 00 | 3 00 | 3 00 | 2,174 | 40.3 | 1.6 |

(3) 財政状態

| | 総資産 | 株主資本 | 株主資本比率 | 1株当たり株主資本 |
|--------|---------|---------|--------|-----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 10年3月期 | 394,420 | 133,780 | 33.9 | 369 16 |
| 9年3月期 | 374,752 | 132,449 | 35.3 | 365 49 |

(注) 1. 期末発行済株式数 10年3月期 362,392 千株 (額面株式 1単位の株式 1,000株)
 9年3月期 362,392 千株
 2. 有価証券の時価と貸借対照表経常額との差額67,460 百万円
 3. デリバティブ取引の時価と契約額等との差額 180 百万円

2. 11年3月期の業績予想(平成10年4月1日~平成11年3月31日)

| | 売上高 | 経常利益 | 当期利益 | 1株当たり年間配当金 | | |
|-----------|--------------------|----------------|----------------|------------|-----------|-----------|
| | | | | 中間 | 期末 | 円 銭 |
| 中間期 通期 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| | 230,700 473,000 | 5,000 4,000 | 5,300 1,000 | 0 - | - 6 00 | - 6 00 |

(参考) 1株当たり予想当期利益(通期) 2円76銭

業績概況

1. 当期および次期の業績の概況

(1) 当期の業績の概況

当期のわが国の経済環境は、消費税率引上げ、公共投資の抑制等の影響による個人消費の低迷、民間設備投資の減少等から大幅に悪化し、さらに期後半に至っては金融システムへの不信感の増大から株価が下落し企業倒産も相次ぐなど景気は一段と悪化し、かつてない厳しい状況となりました。

当社の主力商品である普通トラックの国内需要につきましても、公共事業費の削減や住宅投資の低迷もあり、深刻な景気後退により前期比25%減の111,547台と大幅な落ち込みとなりました。

このような経営環境にあって、当社は国内市場動向に的確に対応するために新製品の発売、製品ラインアップの充実につとめるなど積極的な研究開発・販売施策を展開いたしました。

新製品につきましては、大型トラックでは車両総重量22トン・25トンの「Lシリーズ」を充実し、中型トラックでは「ライジングレンジャー」シリーズの製品充実・仕様の向上をはかりました。また小型トラック「レンジャー2」におきましても車両性能の向上をはかるなど積極的かつきめ細かな新型車両の開発を行ない、需要の喚起につとめました。

その結果、国内普通トラック市場におきまして登録台数連続25年第1位の栄冠を獲得することができました。しかしながら、全体需要の大幅減退のため、小型トラックを除き販売台数は前期に比べ減少いたしました。

バス部門におきましては、依然総需要の低迷状況が続く中、市場構造も乗客数の減少、乗客の高齢化が進み、要求される車型・仕様等が急激に変化しつつあります。当社はそれらの要求に応えるべく、乗降性を大幅に向上させ、車椅子の利用者にもやさしい乗降を実現した「レインボー・ワンステップ低床車」「リエッセ・ステップリフトバス」等を市場に投入いたしました。販売台数は前年を下回りました。

以上の結果、バスならびに2トン車を含む国内向けディーゼル車の総販売台数は前期比8.5%減の46,412台となりました。

海外市場につきましては、円安基調の継続という後押しはあったものの、当社製品の主力市場である東南アジア地域での通貨不安から始まった経済の低迷により、大幅な需要減退となりました。特に、タイにおいては現地法人の製造工場が休止に追い込まれたほか、インドネシア等におきましても大幅な需要の減退に見舞われました。

この結果、総輸出台数は前期比26.7%減の24,678台と大きく落ち込みました。

また、トヨタ自動車株式会社より生産を受託している小型車につきましては、9月にフルモデルチェンジを行なったピックアップトラック「ハイラックス」、および乗用車「ハイラックスサーフ」が同社の強力な販売網により、堅調な販売実績を示しましたが、東南アジア向け輸出の減少もあり、生産台数は前期比20.3%減の248,019台と、前年を大幅に下回りました。

以上、当期はほぼ当社全製品において、販売数量が減少するというかつてない厳しい経営状態の中であって、全社的的原価低減活動の強化など、収益確保のための緊急対策を強力に推進いたしました。総売上高は前期比7.5%減の5,752億5百万円にとどまり、利益面におきましても、遺憾ながら経常利益は前期比51.9%減の45億89百万円、当期利益は前期比32.4%減の36億44百万円となりました。

(2) 次期業績の見通し

今後の見通しにつきましては、政府による特別減税・公共投資を柱とした過去最大規模の総合経済対策の実施による景気刺激策の浸透が期待されますものの、現在の深刻な景気状況が早期に好転することは見込めず、引き続き予断を許さない状況が続くものと考えられます。

当社の主力製品の市場であります国内普通トラック市場におきましては、建設向け需要の不振は容易に好転するとは考えられず、またカーゴ向け需要も回復が遅く、総需要の増加は見込めないものと予想されます。従って、昨年度に引き続き激しいシェア争いが繰り広げられるものと見込まれます。

また、輸出市場におきましても、当社主力製品の市場であります東南アジア地域の経済は依然回復の見込みも立たない状況にあり、輸出数量の減少は避けられない状況にあります。

こうした状況の中での確かな見通しは困難ではありますが、平成10年度の総売上高は4,730億円、経常利益は40億円程度になるものと見込まれます。

2. 配当政策

(1) 基本方針

当社は、利益配分につきましては、将来の事業展開と今後の環境変化に柔軟に対応できる経営体質の一層の強化、充実のために必要な内部留保を確保しつつ、安定的な配当を継続していくことを基本方針としております。

(2) 当期の配当金

当期の配当につきましては、国内外の市場収縮によりほぼ当社全製品の販売数量が減少するというかつてない厳しい経営環境下ではありますが、上記基本方針に基づき、昨年12月行った1株につき3円の間配当に引き続き、期末配当につきましても同額とし、前年と同様年6円の配当を実施させていただきます。

この結果、当期は配当性向59.7%、株主資本利益率2.7%、株主資本配当率1.6%となります。

(3) 内部留保、その他

内部留保資金につきましては、新製品の開発を含む製品競争力の強化、生産諸設備の更新改善等のための投資に活用してまいります。

以 上

3 - 1 . 貸借対照表

貸 借 対 照 表

(百万円未満切捨て)

| 科 目 | 当 期 平成10年3月31日 | 前 期 平成 9 年3月31日 | 増 減 |
|----------------|-------------------|--------------------|------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 流 動 資 産 (資産の部) | (156,704) | (151,882) | (4,822) |
| 現金預金 | 35,550 | 24,264 | 11,285 |
| 受取手形 | 255 | 317 | 61 |
| 有価証券 | 73,950 | 70,524 | 3,425 |
| 自製原価 | 13,354 | 28,434 | 15,080 |
| 材料 | 0 | 0 | 0 |
| 仕掛品 | 11,675 | 10,942 | 733 |
| 貯蔵品 | 404 | 351 | 52 |
| 前払費用 | 12,648 | 10,807 | 1,840 |
| その他の流動資産 | 2,506 | 2,219 | 286 |
| 貸倒引当金 | 2,346 | 1,564 | 781 |
| | 4,732 | 3,264 | 1,467 |
| | 720 | 810 | 90 |
| 固 定 資 産 | (237,716) | (222,870) | (14,846) |
| 有形固定資産 | (177,672) | (164,400) | (13,271) |
| 建物 | 52,182 | 48,789 | 3,392 |
| 構築物 | 11,184 | 10,788 | 395 |
| 機械装置 | 62,407 | 56,842 | 5,564 |
| 車両運搬具 | 3,045 | 2,610 | 434 |
| 工具器具備品 | 14,878 | 8,554 | 6,324 |
| 土地 | 17,067 | 15,851 | 1,215 |
| 建設仮勘定 | 16,906 | 20,962 | 4,055 |
| 無形固定資産 | (-57) | (58) | (0) |
| 施設利用権 | 8 | 9 | 0 |
| その他の無形固定資産 | 49 | 49 | 0 |
| 投 資 等 | (59,986) | (58,411) | (1,575) |
| 投資有価証券 | 47,947 | 47,654 | 293 |
| 子会社株式・出資金 | 3,074 | 2,598 | 475 |
| 長期貸付金 | 1,214 | 1,347 | 132 |
| 長期前払費用 | 3,712 | 3,388 | 324 |
| その他の投資等 | 5,717 | 6,293 | 575 |
| 貸倒引当金 | 1,680 | 2,870 | 1,190 |
| 資 産 合 計 | 394,420 | 374,752 | 19,668 |

貸借対照表

(百万円未満切捨て)

| 科 目 | 当 期 平成10年3月31日 | 前 期 平成9年3月31日 | 増 減 |
|---------------|-------------------|------------------|-------------|
| (負債の部) | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 流 動 負 債 | (174,668) | (174,592) | (76) |
| 支 払 手 形 | 4,840 | 6,754 | 1,914 |
| 買 掛 金 | 92,131 | 108,951 | 16,820 |
| 短 期 借 入 金 | 33,234 | 19,874 | 13,360 |
| 一年返済予定の長期借入金 | 7,339 | 547 | 6,791 |
| 一年償還予定の社債 | 4,000 | - | 4,000 |
| 未 払 金 | 16,719 | 16,703 | 16 |
| 未 払 法 人 税 等 | 177 | 3,079 | 2,902 |
| 未 払 事 業 税 等 | 87 | 873 | 786 |
| 未 払 費 用 | 4,933 | 4,154 | 778 |
| 預 り 金 | 303 | 383 | 80 |
| 賞 与 引 当 金 | 5,967 | 7,742 | 1,774 |
| 製 品 保 証 引 当 金 | 4,910 | 5,500 | 590 |
| その他の流動負債 | 24 | 27 | 3 |
| 固 定 負 債 | (85,971) | (67,709) | (-18,261) |
| 社 債 | 70,000 | 44,000 | 26,000 |
| 長 期 借 入 金 | 1,153 | 8,547 | 7,393 |
| 退 職 手 当 引 当 金 | 14,817 | 15,162 | 344 |
| 負債合計 | 260,640 | 242,302 | 18,337 |
| (資本の部) | | | |
| 資 本 金 | (26,412) | (26,412) | - |
| 法 定 準 備 金 | (24,389) | (24,389) | - |
| 資 本 準 備 金 | 17,786 | 17,786 | - |
| 利 益 準 備 金 | 6,603 | 6,603 | - |
| 剰 余 金 | (82,978) | (81,647) | (-1,330) |
| 固定資産圧縮積立金 | 353 | 374 | 20 |
| 別 途 積 立 金 | 77,000 | 74,000 | 3,000 |
| 当 期 未 処 分 利 益 | 5,624 | 7,273 | 1,648 |
| (うち当期利益) | (3,644) | (5,390) | (1,745) |
| 資本合計 | 133,780 | 132,449 | 1,330 |
| 負債及び資本合計 | 394,420 | 374,752 | 19,668 |

3 - 2 . 損益計算書

損 益 計 算 書

(百万円未満切捨て)

| 科 目 | 当 期 自 平成 9年 4月 1日 至 平成10年 3月31日 | 前 期 自 平成8年 4月 1日 至 平成9年 3月31日 | 増 減 |
|------------|---------------------------------------|-------------------------------------|-----------|
| (経常損益の部) | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 営業損益の部 | | | |
| 営業収益 | | | |
| 売上高 | 575,205 | 622,102 | 46,897 |
| 営業費用 | | | |
| 売上原価 | 537,478 | 570,570 | 33,091 |
| 販売費及び一般管理費 | 36,714 | 42,855 | 6,141 |
| 営業費用計 | (574,193) | (613,426) | 39,233 |
| 営業利益 | 1,012 | 8,676 | 7,664 |
| 営業外損益の部 | | | |
| 営業外収益 | | | |
| 受取利息及び配当金 | 2,468 | 2,586 | 118 |
| 雑益 | 5,160 | 2,510 | 2,649 |
| 営業外収益計 | (7,628) | (5,096) | (2,531) |
| 営業外費用 | | | |
| 支払利息及び割引料 | 1,779 | 2,048 | 268 |
| 雑損 | 2,271 | 2,184 | 87 |
| 営業外費用計 | (4,051) | (4,233) | 181 |
| 経常利益 | 4,589 | 9,539 | 4,950 |
| (特別損益の部) | | | |
| 特別利益 | | | |
| 固定資産売却益 | (24) | 29 | 5 |
| 投資有価証券売却益 | - | 255 | 255 |
| 特別利益計 | -24 | (285) | 261 |
| 特別損失 | | | |
| 固定資産廃却損 | 589 | 484 | 105 |
| その他 | 258 | - | 258 |
| 特別損失計 | (848) | (484) | (364) |
| 税引前当期利益 | 3,764 | 9,340 | 5,575 |
| 法人税及び住民税 | 120 | 3,950 | 3,830 |
| 当期利益 | 3,644 | 5,390 | 1,745 |
| 前期繰越利益 | 3,066 | 2,969 | 97 |
| 中間配当額 | 1,087 | 1,087 | 0 |
| 当期末処分利益 | 5,624 | 7,273 | 1,648 |

注 記 事 項

(貸借対照表関係)

| | 当 期 | 前 期 |
|---|------------|------------|
| 1. 子会社に対する金銭債権債務 | | |
| 短期金銭債権 | 3,241百万円 | 2,413百万円 |
| 長期金銭債権 | 940百万円 | 950百万円 |
| 短期金銭債務 | 1,255百万円 | 1,545百万円 |
| 2. 有形固定資産の減価償却累計額 | 287,165百万円 | 267,307百万円 |
| 3. 貸借対照表に計上した固定資産のほか、車体製造設備及び電子計算機の各一部についてはリース契約により使用している。 | | |
| 4. 担保に供されている資産 | | |
| 建 物 | 1,165百万円 | 1,211百万円 |
| 土 地 | 68百万円 | 68百万円 |
| 5. 保 証 債 務 | 14,836百万円 | 15,544百万円 |
| 6. 取引所の相場のある有価証券の一部に、その時価が取得価額よりも著しく低下しているものがあるが、当該有価証券についても取得価額を付している。 | | |
| 7. 輸出手形割引高 | 13百万円 | 10百万円 |
| 8. 社債の債務履行引受契約に係る偶発債務 | 20,000百万円 | 20,000百万円 |
| 9. 一株当たりの当期利益 | 10円 6銭 | 14円 88銭 |
| 10. 自己株式数 | 1,770株 | 176株 |

(損益計算書関係)

| | 当 期 | 前 期 |
|-------------|-----------|-----------|
| 1. 子会社との取引高 | | |
| 売上高 | 11,034百万円 | 6,277百万円 |
| 仕入高 | 9,595百万円 | 11,019百万円 |
| 営業取引以外の取引高 | 126百万円 | 53百万円 |

(リース取引関係)

| | 当 期 | 前 期 |
|----------------------------------|-----------|-----------|
| 1. 取得価額相当額 | | |
| 機 械 装 置 | 5,639百万円 | 2,407百万円 |
| 工 具 器 具 備 品 | 11,767百万円 | 8,576百万円 |
| 合 計 | 17,406百万円 | 10,983百万円 |
| 2. 減価償却累計額相当額 | | |
| 機 械 装 置 | 1,801百万円 | 1,571百万円 |
| 工 具 器 具 備 品 | 4,867百万円 | 3,930百万円 |
| 合 計 | 6,668百万円 | 5,501百万円 |
| 3. 期末残高相当額 | | |
| 機 械 装 置 | 3,838百万円 | 835百万円 |
| 工 具 器 具 備 品 | 6,899百万円 | 4,646百万円 |
| 合 計 | 10,737百万円 | 5,481百万円 |
| 4. 未経過リース料期末残高相当額 | | |
| (1 年 内) | 2,856百万円 | 1,800百万円 |
| (1 年 超) | 7,881百万円 | 3,681百万円 |
| (合 計) | 10,737百万円 | 5,481百万円 |
| 5. 支払リース料及び減価償却費相当額 | | |
| 支払リース料 | 1,999百万円 | 1,348百万円 |
| 減価償却費相当額 | 1,999百万円 | 1,348百万円 |
| 6. 減価償却費相当額の算定根拠 | | |
| リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。 | | |

(注) 取得価額相当額及び未経過リース料中間期末残高相当額の算定は、未経過リース料期末残高相当額の有形固定資産の期末残高等に占める割合が低いので、支払利子込み法によっている。

(重要な会計方針)

- 有価証券の評価方法は、移動平均法による原価法である。
- 棚卸資産の評価方法は、移動平均法による原価法(ただし、製品は個別原価法)である。
- 有形固定資産の減価償却方法は、定率法(ただし、型治具は定額法)である。
- 繰延資産(社債発行費)の処理方法は、支出時に全額費用として処理している。
- 貸倒引当金は、法人税法による限度相当額(法定繰入率)のほか、債権の回収状況を勘案して計上している。
- 賞与引当金は、当期に負担すべき支給見込額を計上している。
- 製品保証引当金は、製品のアフターサービス費用について、過去の実績を基礎として計上している。
- 退職手当引当金は、法人税法による限度相当額を計上している。
なお、従業員が退職した場合に支給される退職金の一部について、適格退職年金制度を採用している。
- リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。
- 消費税等の会計処理方法は、税抜方式によっている。

3 - 3 . 利益処分案

利益処分案

(百万円未満切捨て)

| 科 目 | 当 期 自 平成 9年 4月 1日 至 平成10年 3月31日 | 前 期 自 平成8年 4月 1日 至 平成9年 3月31日 | 増 減 |
|-------------------------------|---------------------------------------|-------------------------------------|--------------|
| 当 期 未 処 分 利 益 | 百万円 5,624 | 百万円 7,273 | 百万円 1,648 |
| 固定資産圧縮積立金取崩額 | 19 | 20 | 1 |
| 計 | 5,643 | 7,293 | 1,650 |
| こ れ を 次 の 通 り 処 分 い た し ま す 。 | | | |
| 配 当 金 | 1,087 1株につき3円 (普通配当 3円) | 1,087 1株につき3円 (普通配当 3円) | 0 |
| 役 員 賞 与 金 (うち監査役分) | 70 (5) | 140 (10) | 70 (5) |
| 別 途 積 立 金 | - | 3,000 | 3,000 |
| 次 期 繰 越 利 益 | 4,486 | 3,066 | 1,419 |
| 計 | 5,643 | 7,293 | 1,650 |

(注) 1. 中間配当を次のとおり実施いたしました。

| | (当 期) | (前 期) |
|-------|------------------------------|------------------------------|
| 実 施 日 | 平成9年12月1日 | 平成8年12月2日 |
| 中間配当金 | 1,087百万円 1株につき 普通配当 3円 | 1,087百万円 1株につき 普通配当 3円 |

2. 固定資産圧縮積立金取崩額は租税特別措置法に基づくものである。

3. 配当金は自己株式を除いて計算している。

4. 製品別売上実績及び予想

(百万円未満切捨て)

| | | 当 期 | | 前 期 | | 増 減 | | 前 期 |
|-------------------|---------------|--------------------------|---------|-------------------------|----------|--------|--------|---------------------------|
| | | 自平成9年4月1日 至平成10年3月31日 | | 自平成8年4月1日 至平成9年3月31日 | | | | 自平成10年4月1日 至平成11年3月31日 |
| | | 台 数 | 金 額 | 台 数 | 金 額 | 台 数 | 金 額 | 台 数 |
| 国 内 | 大型トラック | 17,830 | 116,740 | 19,990 | 132,259 | 2,160 | 15,519 | 14,500 |
| | 中型トラック | 19,841 | 56,224 | 22,966 | 65,748 | 3,125 | 9,524 | 13,900 |
| | 普通トラック計 | 37,671 | 172,964 | 42,956 | 198,007 | 5,285 | 25,043 | 28,400 |
| | 3.0~3.5トントラック | 2,270 | 4,329 | 2,517 | 4,754 | 247 | 424 | 2,700 |
| | バス | 2,739 | 29,052 | 2,823 | 30,744 | 84 | 1,691 | 2,900 |
| 計 | | 42,680 | 206,347 | 48,296 | 233,506 | 5,616 | 27,159 | 34,000 |
| 輸 出 | 大型トラック | 12,936 | 46,263 | 21,159 | 69,665 | 8,223 | 23,401 | 9,200 |
| | 中型トラック | 4,003 | 9,168 | 5,799 | 11,099 | 1,796 | 1,931 | 2,300 |
| | 3.0~3.5トントラック | 4,177 | 7,131 | 3,133 | 4,714 | 1,044 | 2,417 | 3,500 |
| | バス | 3,562 | 11,796 | 3,582 | 9,262 | 20 | 2,534 | 2,500 |
| | 計 | 24,678 | 74,360 | 33,673 | 94,741 | 8,995 | 20,380 | 17,500 |
| ディーゼル車計 | | 67,358 | 280,707 | 81,969 | 328,247 | 14,611 | 47,540 | 51,500 |
| 2トントラック | | 3,732 | 6,485 | 2,416 | 4,040 | 1,316 | 2,444 | 5,600 |
| 海外生産用部品 | | - | 2,129 | - | 3,047 | 14,007 | 917 | - |
| 小型車 | | 248,019 | 220,244 | 311,385 | 220,945 | 63,366 | 701 | 197,600 |
| 汎用エンジン・ 部品・その他 | | - | 65,638 | - | 65,821 | - | 182 | - |
| 総売上高 | | - | 575,205 | - | 622,102 | - | 46,897 | - |
| (うち輸出売上高) | | | -89,971 | | -110,996 | | 21,025 | |

小型車の売上高にはトヨタ自動車向け補給部品等の売上を含む。

5. 有価証券の時価等

(単位：百万円)

| 種 類 | 期 間 | 当 期 (平成10年3月31日現在) | | | 前 期 (平成9年3月31日現在) | | |
|---------------|----------|--------------------|-----------|---------|-------------------|-----------|-----------|
| | | 貸借対照表計上額 | 時 価 | 評価損益 | 貸借対照表計上額 | 時 価 | 評価損益 |
| (1)流動資産に属するもの | 株 式 | 12,364 | 20,123 | 7,758 | 9,640 | 21,739 | 12,099 |
| | 債 券 | - | - | - | - | - | - |
| | そ の 他 | 422 | 176 | 245 | 1,241 | 551 | 690 |
| | 小 計 | 12,787 | 20,300 | 7,512 | 10,881 | 22,291 | 11,409 |
| (2)固定資産に属するもの | 株 式 | 33,436 | 93,384 | 59,947 | 33,397 | 125,995 | 92,598 |
| | (うち関係会社) | (3,648) | (4,013) | (364) | (3,640) | (6,633) | (2,993) |
| | 債 券 | - | - | - | - | - | - |
| | そ の 他 | - | - | - | - | - | - |
| | 小 計 | 33,436 | 93,384 | 59,947 | 33,397 | 125,995 | 92,598 |
| | 合 計 | 46,224 | 113,684 | 67,460 | 44,279 | 148,286 | 104,007 |

(注) 1. 時価等の算定方法
 上場有価証券 主に東京証券取引所の最終価格によっております。
 店頭売買有価証券 日本証券業協会が発表する最終売買値段等によっております。
 非上場の証券投資信託の受益証券 基準価格によっております。

2. 流動資産に属する株式には、自己株式を含んで表示しております。

3. 開示の対象から除いた有価証券の貸借対照表計上額

| | <当期末> | <前期末> |
|-------------------|-------------|-------------|
| 【流動資産に属するもの】 | | |
| ・割引金融債 | 567百万円 | 567百万円 |
| ・買現先の有価証券 | - | 16,985百万円 |
| 【固定資産に属するもの】 | | |
| ・店頭売買有価証券を除く非上場株式 | 17,108百万円 | 16,854百万円 |
| (うち関係会社) | (13,088百万円) | (12,858百万円) |

4. 記載金額は、単位未満の端数を切り捨て表示しております。

6. デリバティブ取引の契約額等、時価及び評価損益

(単位：百万円)

| 区 分 | 種 類 | 当 期 (平成10年3月31日現在) | | | 前 期 (平成9年3月31日現在) | | | | |
|-------------------------|-----------|--------------------|--------|-----|-------------------|--------|--------|-----|---------|
| | | 契約額等 | | 時 価 | 評 価 損 益 | 契約額等 | | 時 価 | 評 価 損 益 |
| | | うち1年超 | | | | うち1年超 | | | |
| 市 場 取 引 以 外 の 取 引 | スワップ取引 | | | | | | | | |
| | 受取固定・支払変動 | 39,000 | 35,000 | 922 | 992 | 39,000 | 39,000 | - | - |
| | 受取変動・支払固定 | 20,000 | 20,000 | 811 | 811 | 20,000 | 20,000 | - | - |
| | 合 計 | 59,000 | 55,000 | 180 | 180 | 59,000 | 59,000 | - | - |

(注) 1. 時価の算定方法は、取引先金融機関等から提示された価格等に基づき算定しております。
 2. 通貨関連について、今期(平成10年3月31日)、前期(平成9年3月31日)とも適用がありませんでしたので記載しておりません。